

JOYCEAN JAPAN NO.2

日本ジェイムス・ジョイス協会会報 第2号

目 次

あいさつ	会長 大澤 正佳	3
モリー像の変遷 I — ジョイスからケナーまで	夏目 博明	4
紋切型の効用 — 『ユリシーズ』最終挿話	林 完枝	13
『ユリシーズ』 — 父なる創造行為	桑原 俊明	25
シンポジウム: 『ユリシーズ』第11挿話 'Sirens' をめぐって		
	司会 清水 重夫	35
「ブリーヴン」と「ストゥーム」に向けての物語(1)		
— 『ユリシーズ』第11章「セイレーン」の分析—	金井 嘉彦	36
‘Sirens’挿話と換喩の手法	結城 英雄	46
‘Sirens’: 誘惑するテキスト	若島 正	57
研究会報告		
* 『ユリシーズ』第11挿話 'Sirens' 研究	関西ジョイス協会	66
切断と連結 — ‘Wandering Rocks’ から ‘Sirens’ へ	若島 正	67
交換可能な人称代名詞とゆらぐ固有名詞	西谷 拓哉	72
語形操作について	原田 大介	77
<偶然の一致> という操作	須川いずみ	82
‘Exquisite Contrast’ について	井上千津子	87
* 『ユリシーズ』第15挿話 ‘Circe’ 読解(II.1-250)	関東ジョイス研究会	93
デリダのレコード Ulysse gramophone を読む	吉川 信	124
第2回プログラム・会計報告		137
ジェイムズ・ジョイス研究書誌(1989-90)・補遺	清水 重夫	139
研究発表概要(英文)		144